

全国高校総体

全国高校総体（インターハイ）は7日、石狩市スポーツ広場などで行われ、ソフトボール男子の明徳義塾が3回戦と準々決勝で勝ち、4強に進出した。

テニスのシングルスは男子が大岐優斗（宮崎・佐土原）、女子は小高未織（埼玉・浦和麗明）が優勝した。ダブルスは男子が本山知苑、水野煌矢組（三重・四日市工）、女子は水口由貴、新城英万組（沖縄尚学）が制した。
なごなたは団体で首里（沖縄）が2年連続5度目の制覇。個人は柳沢心（京都・南陽）が頂点に立った。

明徳 準決勝進出



分かる一振りだった。明徳が全国総体に前回出場したのは2012年。大会後、日本代表のエースで4番として世界ジュニア選手権銀メダルの原動力となった岡崎建斗（現・大阪桃次郎）を擁して4強入りしている。豪快な試合運びで11年前のチームに並んだ。「細かいことはできない」と広田監督が評するチームだが、大きいことならできるともいえる。（井上太郎）

ソフトボール

（石狩市スポーツ広場）
▽3回戦
明徳義塾
320010006
00000101
新 見（岡山）
（明）大岡、田中、由佐
（新）後藤、赤木、大原

▽異打 由佐（明）
▽準々決勝
明徳義塾103000228
熊本工200001126
（明）大岡、由佐
（熊）島田、米野
▽本塁打 大岡2、勝間（以
上明）吉村（熊）▽三塁打
宮本、由佐（以上明）▽二塁
打 舩谷（明）島田（熊）

→【男子準々決勝 明徳
ー熊本工】7回表明徳
2死一塁、大岡がこの
試合2本目の本塁打と
なるランを放ち8-
4。中山④の出迎えを
受ける（石狩市スポー
ツ広場）

大岡 失点取り返す2発

本塁打を1本打たれたら、2本打ち返す。ソフトボールで「投打二刀流」は珍しくない。準々決勝の明徳大岡は投手として6失点したものの、3番打者として2本塁打などで6打点を挙げ、勝利に導いた。

一回表に自ら先制適時打を放った大岡だった。その裏は逆転ランを浴びて1-2とされ、三回2死一、一塁での第2打席。失点は取り返す」と、高めのチェンジアップをフルスイング。左翼フェンスのはる

か向こうまで飛ばした。6-4で迎えた七回2死一塁の第4打席。ここで打ったらチームが盛り上がる」と、高めに抜けた球を力いっぱい打た。この試合2本目、今大会3本目の本塁打になることが、打った瞬間に